

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	法学部
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学生の多様な進路希望に適切に対応するために設けたコース制の充実や職業教育導入のための方策を検討する。	→ 「コース制についての満足度調査等の独自アンケート調査の実施状況」「選択したコースと卒業後の進路の対応状況」「新入生オリエンテーションでの説明時間数やコース選択前オリエンテーションへの出席者数」「コース制についての周知実績(独自パンフレット作成の有無等)」「職業教育関連科目の有無・科目数」	B	A	A	A	
2. 少人数教育のための演習科目を充実させる方策を検討する。	→ 「演習科目についての満足度調査項目を含むアンケート調査の実施状況」「選択必修ないし選択制の演習科目(研究演習・人文演習等)の履修率」「演習科目の効果的な再配置と新設の検討状況」「1年次配当の演習科目(基礎演習)における初年時教育の内容」「学内や他大学の演習クラスとの合同による研究演習の実施数」「新入生オリエンテーションでの説明時間数やゼミ選択前のゼミ説明会への出席者数」「演習科目についての周知実績(独自パンフレット作成の有無等)」	B	A	A	A	
2010年度以降に設定した「目標」	→					
	→					

## 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	理念・目的は設定されている。目標1が理念目標という本項の趣旨とそぐわないことは一昨年来指摘されていることではあるが、コース制の充実、キャリアガイダンスや職業教育の導入といった目標は、2012年度から実施にうつされた新カリキュラムにおけるコース制の再編やスタートアップ演習の新設などによって実現されている。
目標2	理念・目標は設定され、公開され、定期的に見直す仕組みが制度化されている。目標2が目標・理念という本項の趣旨にそぐわないことは一昨年来指摘されていることではあるが、少人数教育のための演習科目の充実という目標は、2012年度から実施にうつされた新カリキュラムにおける法学・政治学基本演習、模擬裁判演習、法政教養演習、コース導入演習、法政文化研究演習などの新設により実現されている。
備考	